

『日本教育大学協会研究年報』編集規程

日本教育大学協会年報編集委員会制定

(平成元年 7 月 10 日 制 定)

(平成 9 年 3 月 10 日 一部改正)

(平成11年 2 月 1 日 一部改正)

(平成15年 1 月 31 日 一部改正)

(平成18年 2 月 27 日 一部改正)

(平成19年 3 月 27 日 一部改正)

(平成20年 5 月 28 日 一部改正)

(平成23年 8 月 4 日 一部改正)

(平成25年11月 25 日 一部改正)

(平成28年11月 24 日 一部改正)

(平成31年 1 月 4 日 一部改正)

(令和元年11月 7 日 一部改正)

- (1) 本誌は、日本教育大学協会年報編集委員会で編集し、年 1 回おおむね年度末に発行する。
- (2) 本誌は、「教育者の養成の理論及び実際」「教育の内容及び方法」等に関する研究論文、その他教育、研究活動に関連する記事をもって充て、①投稿論文、②研究集会発表報告から構成する。
- (3) ファーストオーサーとしての資格がある者は、論文等が掲載予定の研究年報が発行される年度において、協会の会員である大学・学部及び附属学校・園の専任教員の身分を有する者とする。
なお、共同執筆者については、資格を問わない。
- (4) 上記 (2) ①投稿論文の原稿は、年報編集委員会制定による『日本教育大学協会研究年報』投稿規程に従って執筆するものとする。
- (5) 上記 (2) ①投稿論文の原稿は、年報編集委員会において上記 (3) 及び (4) に基づき執筆されていることを確認し、条件を満たしていることが確認された原稿は、査読者による査読を実施する。なお、査読者による査読の結果を踏まえ、原稿の内容について、検討を求めることがある。
また、上記 (3) 及び (4) の条件を逸脱していることが確認された原稿は、年報編集委員会において掲載不可と判断し、査読者による査読を実施しない。
- (6) 上記 (2) ②研究集会発表報告の原稿は、年報編集委員会において上記 (3) に基づく資格について確認する。なお、執筆等に関する必要な事項は、別に定める。
- (7) 執筆者による校正は、再校までとする。原則として校正時の加筆・補正は認めない。
- (8) 図版・図表等で特に費用を要する場合は、執筆者の負担とする。

附 則

この規程は、令和元年11月7日から施行し、令和2年度発行の第39集から適用する。